



議会を傍聴してみませんか!!

9月定例議会の日程(予定)

日	月	火	水	木	木	土
	8/26	27	28	29	30	31
					本会議 市長提案理由説明 決算特別委員会	
9/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	
8	9	10	11	12	13	14
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
15	16	17	18	19	20	21
		決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (予備日)		
22	23	24	25	26	27	28
		本会議 委員長報告 討論・採決				

- 4月臨時議会リポート…………… 34P
- 6月定例議会リポート…………… 34P
- 議決結果・陳情一覧表…………… 36P
- 一般質問(個人質問)…………… 37P
- 政務活動費報告…………… 43P
- 所管施設調査報告…………… 44P

本会議は51名、委員会は12名まで傍聴できます。

予約の必要はありませんので、
どうぞお気軽にお越しください。

条例

◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正、選挙関係の特別職員の報酬額が変更された事に伴い、選挙長、投票所の投票管理者等8件の報酬額を改正するものです。

原案可決

◆太宰府市立大宰府跡遺構保存覆屋条例の一部を改正する条例

平成31年4月1日に新元号令和が発表されて以来、大宰府展示館には2カ月で6万人を超える入場がありました。来訪者の満足度を高めるための展示物の変更と建物の老朽化に伴う改修費用のため、大宰府展示館の有料化を行うものです。

多数可決

◆太宰府市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、太宰府市税条例等の一部を改正するものです。主な改正内容は、個人住民税及び軽自動車税の見直しに伴う規定を整備するものです。

原案可決

◆太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例

「地場みやげ産業の振興」に向けて、本市の特性を生かした特産品等について調査審議するために「太宰府市産業推進協議会」を設置するものです。

原案可決

◆太宰府市森林環境譲与税基金条例の制定

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の成立に伴い、森林整備等に関する施策の財源に充てることを目的として、太宰府市森林環境譲与税基金条例を制定します。

原案可決

予算

◆令和元年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ3億7,317万2千円を追加し、予算の総額が歳入歳出それぞれ247億4,845万6千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	歳出の主なもの
総務費	530万円	総合企画推進費(250万円) 新元号令和を記念して、梅花の歌32首序文と寄附者の名前を刻んだ、チタン製のモニュメントの作成委託料として。 地域コミュニティ推進費(240万円) 宝くじ助成金の採択を受けた自治会事業に対する交付金として。
民生費	1,895万4千円	児童扶養手当給付費(140万円) 児童扶養手当受給世帯のうち、本年10月31日現在を基準日にこれまでに法律婚をしたことがない者に対する給付金として。 保育施設運営支援費(1,591万1千円) 幼児教育・保育無償化に伴うシステム改修委託費等として。
農林水産業費	2,370万9千円	農業用施設整備費(2,040万9千円) 2カ所の池の耐震調査費及び平成30年度に耐震調査を実施した2カ所の池の追加調査費として。 森林環境譲与税事業費(330万円) 国の税制改正において森林環境譲与税が創設されることから、森林環境譲与税基金積立金として。
商工費	3億2,520万9千円	プレミアム付商品券事業費(3億2,500万円) 消費税増税に伴い実施されるプレミアム付商品券事業の費用として。

議員提案

◆特別委員会(太宰府市議会災害対応調査特別委員会)の設置

市内において大規模災害が発生した場合に議会及び議員の対応に関することを明確にし、迅速かつ的確な災害応急対策、災害復旧及び災害からの復興に寄与するために設置しました。

委員長 徳永 洋介議員 副委員長 入江 寿議員

委員 門田 直樹議員、木村 彰人議員、笠利 毅議員、宮原 伸一議員

原案可決

4月 臨時議会レポート

平成31年第1回臨時会を4月9日の1日間の会期で開催しました。
専決処分の承認4件、一般会計補正予算1件の審議を行いました。

専決処分

◆太宰府市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、太宰府市税条例等の一部を改正するものです。主な内容は、ふるさと納税に関する規定等を整備するものです。

承認

◆太宰府市都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、太宰府市都市計画税条例の一部を改正するものです。

承認

◆太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正するものです。国民健康保険税の賦課限度額を引き上げるものです。

承認

◆太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、太宰府市介護保険条例の一部を改正するものです。低所得者の保険料の軽減拡大を実施するものです。

承認

予算

◆平成31年度太宰府一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ600万円を追加し、総額が歳入歳出それぞれ243億7,528万4千円になりました。

原案可決

6月 定例議会レポート

令和元年第2回定例会を5月31日から6月21日まで、22日間の会期で開催し、報告案件4件、人事案件2件、条例の改正5件、条例の制定1件、一般会計補正予算1件、議員提案1件の審議を行いました。

人事

◆太宰府市監査委員の選任

監査委員 堺 剛(任期)令和元年6月4日～令和3年12月2日

同意

◆筑紫公平委員会委員の選任

委員 下田 善太郎(任期)令和元年7月20日～令和5年7月19日

同意

条例

◆太宰府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、太宰府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正し、超過勤務命令の上限を設定する等の見直しを行うものです。

原案可決



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

Q 高雄台登り口交差点、高雄中央公園交差点の安全確保について平成30年3月定例会で質問を行った。高雄台登り口交差点横断歩道設置について、歩行者のたまり場の確保が難しいとの事であったが、どのような調査を行い、道路沿いの土地所有者に協力を仰いだのか。検討はどの様にされたか。また高雄中央公園交差点への点滅信号設置について協議の進捗状況を伺う。



A 部長 高雄台登り口交差点には歩行者のたまり場がないことから横断歩道に代るものと考えたいと平成30年3月定例会で回答しました。横断歩道設置は難しいと筑紫野警察署に確認しており、ランプ設置に向けて協議をしています。高雄中央公園交差点には県警本部は点滅信号を設けない方針のため、横断歩道設置に向けて協議中です。児童・生徒の通学時の安心安全の確保は市にとっても重要課題で、筑紫野警察署や地元自治会、学校などと協議の上、安全対策を実施していきたいと考えています。

全質問項目

◇通学路の安全確保について



はせがわ こうせい
長谷川 公成
議員

問 通学路の安全確保を早急に

Q 本市には太宰府政庁跡などの名所、史跡が数多くあり、年間1千万人も観光客がお越しになる。それらの史跡や名所を結ぶ歴史の散歩道を活かし周遊型史跡観光を目指すことが非常に大事であると考え、2点伺う。

A 部長 ①平成2年から7カ年をかけて総延長約5kmの散策路整備を行いました。完成から20年が



はらだ くみこ
原田 久美子
議員

問 周遊型史跡観光のための環境整備を

①歴史の散歩道の劣化がひどい。再整備が必要ではないか。
②どのような周遊型史跡観光を考えているか。

経過し各所に劣化が顕著となり再整備の要望をいただいています。平成22年に歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認可、補助を受けて史跡地等の環境設備に取り組み、令和4年度まで散歩道環境整備事業を計画しています。

②改元効果により歴史の散歩道にも多くの観光客の姿が見られ、レンタサイクルやまほろば号の利用客も増加しています。マップやサイン、公共交通やシェアサイクルなどの充実を図り回遊性を高めたいと考えています。



全質問項目

◇歴史の散歩道環境整備事業と周遊型の史跡観光について
◇景観に配慮した道路環境整備と周辺整備について

4月臨時会全会一致で可決した議案

案件	議案番号	案件名	議決結果
1	議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市税条例等の一部を改正する条例)	承認
2	議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
3	議案第44号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
4	議案第45号	専決処分の承認を求めることについて(太宰府市介護保険条例の一部を改正する条例)	承認
5	議案第46号	平成31年度太宰府市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決

6月定例会全会一致で可決した議案

案件	議案番号	案件名	議決結果
1	報告第1号	平成30年度太宰府市一般会計予算繰越明許費について	—
2	報告第2号	平成30年度太宰府市一般会計予算事故繰越しについて	—
3	報告第3号	平成30年度太宰府市水道事業会計予算繰越について	—
4	報告第4号	平成30年度太宰府市・みらい基金の運用状況報告について	—
5	議案第47号	太宰府市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
6	議案第48号	筑紫公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
7	議案第49号	太宰府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
8	議案第50号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
9	議案第52号	太宰府市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
10	議案第53号	太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
11	議案第54号	太宰府市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決
12	議案第55号	令和元年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
13	発議第1号	特別委員会(太宰府市議会災害対応調査特別委員会の設置)について	原案可決

6月定例会賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

件数	議案番号	案件名	議決結果	公明党		幸光			市民ネット		新政会		共産党		未来		無会派	
				小島	剛	宮原	原田	入江	船越	柳原	徳永	村山	長谷川	橋本	上	神武		藤井
1	議案第51号	太宰府市立太宰府跡遺構保存覆屋条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○

※陶山良尚議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。村山議員は入院治療のため欠席です。
※以下の党派名について、一部省略して記載しています。
公明党:公明党太宰府市議団 共産党:共産党太宰府市議団 新政会:太宰府新政会 未来:未来のまち
市民ネット:太宰府市民ネット 無会派:会派に所属していない議員

陳情・請願

1	陳情第3号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	総務文教常任委員会に送付
2	陳情第4号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	総務文教常任委員会に送付



Q 安全で安心して暮らせるまちづくりにとって不可欠な道路・河川・砂防の各事業だが、これらは市単独で賄うべきものではなく、市の実態を踏まえた上で県に要望をしっかりと伝え、確実に事業を進めていくことが重要である。

そこで平成26年から30年にかけての県の各事業費を尋ねるとともに、重点的に進められている整備事業について伺う。

A 部長 市の負担金から推計した県事業費を示します。平成26年度、道路約10億9080万円、河川約4930万円、砂防約2070万円、平成30年度はそれぞれ約9億6660万円、2900万円、3300万円です。市内に県道は11路線ありますが、道路事業費は用地買収の有無等で増減があるもので、平成29年度は約4億4000万円でした。市が最優先と考える県道路事業は筑紫野古賀線の整備です。河川事業では伐木要望も上がっています

が、今後の重要事業は水城から大野城筒井橋にかけての御笠川護岸の整備

問 県の道路・河川・砂防事業の実際は
徳永 洋介 議員

です。また三条と内山に砂防ダムを築くことが決まっています。



鶴田橋架け替え工事（県施工）

全質問項目

- ◆本市における県施工道路・河川・砂防の事業費について
- ◆選挙運動用ビラについて
- ◆災害弱者対策について



Q 近年各地で自然災害が多発し、豪雨の発生頻度も高まっている。昨年は本市も豪雨に見舞われ、人的被害はなかったものの、危機管理体制のさらなる強化の必要性を痛感した。5点伺う。

- ① 昨年の総括と今後の市の対応。
- ② 河川管理者とのしゅんせつ、整備などの協議。
- ③ 逃げ遅れゼロに対する対応。
- ④ 土のステーション設置についての見解。
- ⑤ 障がい者や妊娠されている方への支援ツール。

問 豪雨災害への対策は強化されたのか
小島 真由美 議員

りました。災害予防のために治山ダム2基を設置します。

②自治会や地元水利組合と現場を確認した後、優先度の高い箇所から那珂県土整備事務所においてしゅんせつを実施します。

- ③ 今年の梅雨からマイ・タイムラインの作成事例を提示できるように検討します。
- ④ 昨年の豪雨時800袋使用しましたが、ニーズ確認、設置場所、保管方法、処理方法などの調査研究を考えています。
- ⑤ ヘルプカードを福祉課の窓口で配布していますが、障がい福祉団体



へ周知を図り、配布場所の拡大を検討します。

全質問項目

- ◆豪雨災害に強いまちづくりについて



Q この4月、新元号「令和」の由来が太宰府にあることが明らかになり、全国からの来訪者が激増し、市はもとより関係団体、地域は対応に追われた。駐車場、来訪者への対応、観光回遊性など多くの課題がある。今後の見通しと対応について伺う。

文字のサポート、記念モニュメントふるさと納税、クリアファイル作成などを行ってきました。政庁跡を中心とする大宰府史跡は本市の魅力あるエリアです。市としては、今議会に提案している再有料化を実現させていただいた上で大宰府展示館を充実させ、市内周遊マップ、案内板、休憩所、宿泊施設の誘致等により回遊性を高めめます。市内には各部横断の令和プロジェクトチームを発足させ、この好状態を一度で終わらせないと考えています。

問 改元に伴う来訪者増への見通しと対応は
門田 直樹 議員

かどた 直樹 議員



坂本八幡宮参拝への行列



にぎわう大宰府展示館の様子

全質問項目

- ◆改元に伴う来訪者増への対応と課題について
- ◆都市公園の利用について



Q 国民健康保険税の引き上げが平成28年度から連続して行われている。公的医療保険の中では、国保加入者の所得は低い水準にあり、保険加入者の負担増が心配される。そこで、保険税の引き上げに関わり2点質問する。

- ① 本年4月の保険税引き上げが及ぼす加入者への影響について。
- ② 保険税率の県内統一化の動きについて。

問 国民健康保険税はこれからどうなるのか？
藤井 雅之 議員

ふじい 雅之 議員



となります。4月の保険税引き上げ前と比較すると、1人当たりで2.1%、1世帯当たりで5.2%増加しています。低所得者への対応として、本年4月に保険税の軽減判定所得の見直しを行い、2割軽減または5割軽減世帯に配慮しています。

- ② 保険料均一化の時期や具体的内容については、今後、県と市町村との協議で決定されることになると思われます。現時点では、保険料均一化に向けてのスケジュール等について県からの提示はありません。

全質問項目

- ◆国民健康保険税及び事業について

A 市長 4月、5月と連日細心の注意を払いつつ来訪者増に対応してきました。職員、ボランティア、氏子会の方々などには無理をかけつつ、駐車場確保、交通誘導員配置、奉祝の記帳受付、「令和」の人



質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 「太宰府市公共施設等総合管理計画」の推進と活用への考えは

Q 財政負担の軽減・平準化と公共施設の最適な配置を実現するため、施設の現況把握に基づき、その更新、統廃合、長寿命化等を図るよう、国は平成26年4月全国の地方公共団体に要請を行った。

A 市長 ①39施設の中で、面積的に大きな割合を占める小、中学校施設の整備構想案の策定に着手しており、その他の施設についても検討を進めていきます。

内横断的な会議で検討を進めます。



本市でも平成29年3月「太宰府市公共施設等総合管理計画」が策定された。主要39の建物系公共施設と活用について3点伺う。

②公共施設は市民共有の財産であり、庁舎を初めとするそれぞれの施設の性能を維持し、安全で良好な環境を提供する事を目的に、法令に基づき維持管理を行っていきます。

全質問項目
◇太宰府市公共施設等総合管理計画の推進と活用について
◇「スポーツ少年団」について



問 新元号令和の制定を契機とする、本市の新たな取組みはあるか

Q 新元号の発表以降、ゆかりの地とされた本市には全国から多くの観光客が押し寄せている。目的は大宰府展示館にある梅花の宴のジオラマ、そして大伴旅人邸の推定地のひとつとされる、坂本八幡宮である。この令和効果を今後能動的、戦略的に活用していくために3点伺う。

A 市長 ①この令和効果を逃さず大宰府史跡の歴史的価値のさらなる顕在化をすすめます。政庁跡を中心とした大宰府史跡をこれまで以上に魅力あるエリアにしたいと考えています。



大宰府政庁跡

①特別史跡大宰府跡を中心とする史跡地のさらなる活用
②史跡、観光スポットの回遊性を高める取り組み
③観光分野における近隣市との連携の推進

②滞在時間延長の工夫、宿泊施設の充実、観光スポットをつなぐルートを複数つくることなどを考えています。
③筑紫地区にとどまらず、朝倉地区や粕屋地区、福岡市など、関係の深い近隣市町とのさらなる連携を検討していきます。

全質問項目
◇新元号令和の制定を契機とする、本市の新たな取組みについて
◇いきいき情報センター1階部分の有効活用について



問 安全で快適な歩行空間を

堺 剛 議員

Q 生活道路を抜けて道に利用したう

えスピードを出した車が事故を起こすなど、本市には、安心できる歩行環境や静かな生活環境が守られないという道路交通問題がある。そこで3点伺う。

①生活道路の安全対策について本市の現状認識と課題

②本市のゾーン30（※）対策の取り組み状況

③通学路の交通安全確保をさらに進めるための物理的デバイスによる対策

A 部長 ①交通事故の防止は緊急かつ重要な課題であり、速度抑制などの総合的な対策が必要である

合理的な対策が必要であると認識しています。

平成30年度からは通学路整備の予算を新設し、工事を行っています。

②ゾーン30は全国的に整備が進み効果も認められていることから、本市でも平成25年度以降も公安委員会との協議を進めます。

③太宰府市通学路安全推進会議で危険箇所点検、歩道整備に取り組んでいます。物理的デバイスとしてのハン

プや狭さくなどの計画はありません。今後、効果などを検証しながら実施していく必要はあると考えます。



※ゾーン30は、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するものです。

全質問項目
◇本市の交通安全対策について



問 「マミーズ五条店」店舗跡の対応が急務です

笠利 毅 議員

Q いきいき情報センター1階のマミーズが閉店して既に半年以上がたつ。突如として買物困難を覚えるようになった人が多くいる。特に高齢者にとっては、公共交通機関の集結地でもある五条駅そばのマミーズは大変重要であった。今後の市の対応について2点伺う。

①後継商業施設の導入について。

②自家用車に頼らずとも高齢者が買物に困る事がないように、デマンドタクシーの導入をすすめるなどの施策の充実について。

理事 ②現状といたしましては、五条スパーの移動販売車等の民間事業者による支援を利用いただいています。

他市の買物支援事業の実例等を調査し、関係課関係団体等との協議検討をしていく必要があると考えられています。



マミーズ店舗跡

全質問項目
◇「マミーズ五条店」店舗跡の対応について
◇避難所の早期開設の準備について

平成30年度 政務活動費 収支報告

会派名	支給額(円)	支出額(円)	市返還金(円)	執行率(%)
公明党太宰府市議団 (2人) 小畠真由美、堺 剛	600,000	113,680	486,320	18.9
幸 光 (6人) 宮原伸一、原田久美子、陶山 良尚、 入江 寿、船越 隆之、柳原荘一郎	1,800,000	561,633	1,238,367	31.2
太宰府市民ネット (2人) 徳永洋介、村山弘行	600,000	561,824	38,176	93.6
太宰府新政会 (3人) 長谷川公成、橋本 健、上 疆 ※木村議員が平成30年9月21日をもって 会派離脱のため、市に返還した 150,000円を除いた金額及び執行率 で記載	1,050,000	828,730	221,270	78.9
日本共産党太宰府市議団 (2人) 神武 綾、藤井雅之	600,000	506,539	93,461	84.4
門田直樹	300,000	51,533	248,467	17.2
笠利 毅	300,000	202,413	97,587	67.5
木村彰人 ※木村彰人議員は平成30年9月21日 をもって新政会から離脱したため、同 年10月分から半年分の支給額	150,000	116,611	33,389	77.7
合 計	5,400,000	2,942,963	2,457,037	54.5

(平成30年4月1日～平成31年3月31まで)

政務活動費は、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付されるものです。太宰府市議会では、1人当たり月額2万5千円が交付されています。

今後とも、政務活動費を有効的に活用し、調査・研究の成果を市民の皆さんに還元するとともに、市政発展のために生かしていきます。

支出の領収書はホームページ
で公開しています。
こちらから



問 中学三年生までの
通院医療費補助を
神武 綾 議員

Q 子どもの通院医
療費への助成が
太宰府市では小学6年生
までとなっている。今年
度より那珂川市と大野城
市が中学3年生まで助成
を拡大している。本市の
事務事業外部評価委員会
が昨年10月に子ども医療
費助成の必要性を指摘し
ており、あわせて筑紫地
区における助成拡大の潮
流も指摘されている。し
かし本市では子ども医療
費助成予算が平成30年度
は2000万円、平成31
年度は4000万円と減
額が続いている。市の独
自の判断として助成拡大
に踏み切るべきと考え
る。見解を伺う。

A 市長 筑紫地区
で一致して助成
拡大をすべきか、議論は
しました。那珂川市と大
野城市については市長の
選挙公約を踏まえて実施
判断が行われたと受け止
めています。子育て支援
策の重要性は認識してい
ますが、本市の現在の財
政状況での実施は難しい
と判断しました。



子ども医療費

全質問項目

- ◇子ども医療費について
- ◇歴史の散歩道事業について
- ◇指定管理者制度について
- ◇中学校給食について



問 太宰府市内の民泊施設は
どうなっているのか
船越 隆之 議員

Q 民泊新法の施行
により、都道府
県に届けた家主や事業者
は原則180日を上限に
住居専用地域での民泊営
業が可能になり、市内で
も、五条2カ所、高雄1
カ所に民泊施設が営業さ
れている。しかし、新築
の家が建設されたと思っ
たら民泊施設の表示が上
がるなど、民泊利用者
地域住民の間での様々な
問題が生じているよう
である。住民の戸惑いと不
安をなくすため、何らか
の対策を考えているのか
伺う。

A 部長 平成30年
6月15日に住宅
宿泊事業の届けが開始さ
れ、令和元年5月24日
時点で県内879件、市内
においても3件の届けが
提出されています。住宅
宿泊事業法10条は周辺地
域の住民からの苦情や問
い合わせに適切かつ迅速
に対応することを事業者
に義務づけています。法律
にのっとっていない事業
者に対しては、県と協力
しながら指導等を行いま
す。また、市民の方々が
抱く民泊施設に対する不
安を解消するために、ガ
イドラインに基づいた周
辺住民への事前説明を義
務づける等、県へ要望を
していきます。



全質問項目

- ◇太宰府市内の民泊施設について

建設経済常任委員会

●天神さま通り共同溝(令和元年5月10日午前)

太宰府らしさのある景観形成を図るために、地下共同溝に上下水道管・電信・電力線・ガス管等をまとめて地下に埋設したものです。

昭和63年から2年間の工事を経て完成しました。

今や観光客数も年間1000万人を超え、令和ムードでさらに増加する観光客の皆様をお迎えするにあたり、参道の景観も良好になり、改めてこの事業の先見性を感じました。



天神さま通り共同溝内部

●小石原川ダム(令和元年5月10日午後)

水資源機構が管理する小石原川ダム建設現場の視察を行いました。

総事業費1,960億円、完成は2020年(令和2年)度の予定で、ダム本体工事、導水施設建設工事、取水放流設備工事、管理設備工事、付替道路工事(国道・林道)に、に約700名の方々が従事されているとのことでした。



小石原川ダム建設現場

このダムの完成により、水道水の確保はもちろんですが、異常渇水時の緊急水補給や洪水調節機能が期待されます。

◇編集後記◇

平成15年7月19日、未明にかけて降り続いた豪雨は本市において、死傷者7名、家屋の全半壊40棟超の甚大な被害をもたらしました。夏場のこの時期は風水害に特に警戒が必要で日頃からの備えと情報収集が重要です。

6月議会において、災害発生時の議会及び議員の行動基準を定めるための調査研究を行う特別委員会の設置を全会一致で決定しました。二元代表の一翼を担う議会が被災により行動不能とならず、求められる機能を速やかに回復するよう備えるためです。

平成の時代は大規模災害が頻発した時代であったと記憶されましたが、大きな犠牲の上に刻まれた貴重な教訓を大切に、風和らぐ新しい時代を歩みたいものです。

議会広報特別委員会

- 委員長 原田久美子
- 委員 木村彰人
- 委員 藤井雅之
- 委員 橋本健
- 委員 入江寿
- 委員 笠利毅
- 委員 柳原荘一郎

(そ)